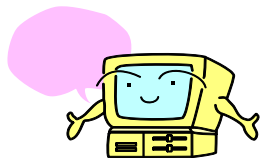




休校延長 5月10日(日)まで

夢色通信社に衝撃が走る。神町中学校の休校期間が5月10日(日)まで延長された。。夢色通信社のム・ネッティ社長は、休校期間が延長されたことで、神中生が1日1日を「ボーっ」と生きてしまうのではないかと、チコちゃんに怒られるのではないかと心配している。しかし、3年生の先生方からは、「思いのほか、勉強を頑張っている生徒が多いですよ。」という返事が返ってきた。あまりにもやることなく、「退屈だな。しかたない、勉強でもするか。」という「しかたない現象」の表れか。「学校がないということが、逆に不安になっているのかもしれない。」と話してくれた先生もいた。現在流行中の「e ライブラリ」に挑戦している生徒も多く、1年生の多田和人くんは、まだ習っていない分野にも挑戦しているらしい。『「量の基準を表す数」の学習は上手くできたけど、「反対の性質をもつ量」の理解があまりできなかった。目標は学習回数500回。頑張ります。』との感想を夢色通信社によせてくれた。3年生の荒木佑太くんは「e ラーニングで」の学習回数が460回を越えたらしく、分からない所はメッセージ機能で質問しながら学習を進めている模様である。この休みを利用して、作文を書いて、山形新聞に応募しませんか？ 希望者は担任まで電話か e ライブラリのメッセージで。お待ちしております！



山形新聞 少年少女の声 (4月14日より)

人ごとではない

3年 工藤 結愛

私は、はっきり言って新型コロナウイルスを甘く見ていました。東京五輪が延期になったり、全国の学校が一斉休校になったりするなんて、誰もが想像できなかったでしょう。

「明日から学校休みだって。」と聞いたとき、驚きよりも友達と会えなくなるさみしさや、残りの勉強はどうなるのかという不安の方が強かったです。休み中の生活など、この時点ではまあ具体的には考えられず、複雑な気持ちのまま一斉休校が始まりました。最初のうちは、学校から出されたたくさんの課題があり、充実した休みを送っていましたが、課題が終わるとだんだんと時間に余裕ができるようになり、早くみんなに会いたい、学校に行きたいという気持ちが日に日に強くなりました。

今も新型コロナウイルスは世界中で流行し続けています。日本の中でも感染が広がっています。いつ終息するのか分からない状況です。目に見えないだけに、とても怖いものになっているのです。休校期間中に見たニュースで、若者が出歩く姿が多く見られました。この状況の中、私たちは危機感が足りないと思います。新型コロナウイルスを甘く見るのはもうやめて、この危機的状況を理解しいち早く予防に努めるべきだと思います。まずは人混みに行かない、マスクの着用、手洗い、うがいなどの当たり前のことから、しっかりやっていきましょう。

